

第5学年 総合的な学習の時間指導案

日時 平成25年11月12日(火) 5校時

指導者 教諭 大沼 多美子

場所 5年生教室

1 単元名「災害時をくらすヒント」

2 単元の目標

- 見いだす力
 - ・災害時の生活の中から、改善・克服するための課題を見つけることができる。
- みつめる力
 - ・災害時をくらすヒントについて調べる中で、自分たちでもできることについて気付く。
- かかわる力
 - ・災害時をくらすヒントについて調べたことを活用し進んで人に伝えようとしたり、よいと思った友達の発表を認め合ったりすることができる。

3 児童の実態と題材設定の理由

一部 省略

総合的な学習については、1学期に荒浜の「今」の状況を実際に取材したりインターネットで情報を集めたりし、新聞や模造紙にまとめる活動を行ってきた。前単元「いろいろな災害」では、副読本を使った方向付けの後、もっと調べたい課題をそれぞれが設定し、インターネットや図書資料を使って調べ活動を行い、ワープロソフトを使ったレポート形式のまとめを行った。

以上の実態を受けて、本単元では、災害時にライフラインが途絶えた状態での、生活の困難さについて考えさせ、それを改善、克服するための工夫について、調べさせていく。副読本に紹介されている工夫を実際に体験させた上で、自分が追求したい課題を立てさせ、図書資料やインターネット、聞き取りなどの調査を行わせる。自分のテーマに沿った様々な工夫を調べていく中で、自分達にもできる工夫があることに気づかせていく。更に、調べた内容の活用の方法を考えさせ、「災害時をくらすヒント」を実際に行ってみたり、他の人に伝える活動を行ったりしていく。災害にあった際にも、自分達もできることがあり、色々な工夫をして困難を自分達の力で克服、改善していこうとする態度を育てる教材として、本単元を設定した。

4 研究との関連

<研究テーマ>

自他の「いのち」を大切にしようとする子供の育成～防災教育を通して～

<学年部テーマ>

防災への備えについて知り、周囲と協力し合って対応することができる子供の育成

○ 上学年部手立て

視点①「いのち」を大切にしたいという思いや考えを持たせるための教材の工夫

- ・児童にとって、身近で実態に即した題材を取り上げる。

視点②「いのち」を大切にしようとして協力して行動させるための単元構想の工夫

- ・主体的に取り組ませるために、日常生活における様々な災害を意識させる場を設定する。

視点③防災教育カリキュラムの改善

- ・「防災教育副読本」の活用を中心とした年間計画を、実践を通して修繕・改善していく。

<指導にあたって>

- ① 東日本大震災や避難所での生活のことなど、児童にとって身近で実態に即した題材を取り入れる。その際、児童の心のケアにも配慮しながら学習を進めていくことにする。また、災害時の暮らしのヒントとなる、身近で具体的な内容を調べる。
- ② 災害時における食生活や明かりの確保など、生活に密着した内容や体験活動を取り入れ、意欲を高める。発表の際は3名内だけでなく、調べたことを広く沢山の人の役に立ててもらえるように発表の相手や方法を工夫する。
- ③新防災教育副読本「3、11から未来へ」を導入段階での学習の方向付けに活用する。

5 指導計画

(1) 防災の年間指導計画における本単元の位置づけ

9～10月 様々な自然災害 理科「台風と天気」と関連	7時間	11月～12月（本単元） 災害時をくらすヒント	1月 災害時の情報手段 社会「情報化した社会と私たちの生活」と関連	3時間
----------------------------------	-----	----------------------------	---	-----

(2) 本単元の指導計画（15時間）

段階	活動名	主な学習内容	育てたい力
第1次 3時間	災害時に困ったこと (本時 1/3)	<ul style="list-style-type: none"> 避難所での生活で困ったこと、大変だったことを思い出す。 災害時の生活の工夫について知り、その中からやってみたいことを決める。(副読本使用) 実際に体験活動を行う。 もっと知りたいこと、調べたいことを考える。 	学習したことや体験したことを基にして、自分の調べたいテーマを持つことができる。(見いだす力)
第2次 7時間	調べよう、災害時をくらすヒント	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料やインターネットを使って、ライフラインが寸断された状況で生活するための工夫や日頃から備えておくべきことについて調べる。 調べたことをまとめたり、実際に体験したりする。 	調べたい情報を得るためにインターネットや書籍テレビなどのメディアを進んで活用する。(みつめる力)
第3次 4時間	伝えよう、災害時をくらすヒント	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを、他の人にも伝える方法を考える。 調べたことをまとめ、他の人(家族、他学年、東宮小の5年生など)に伝える。 	調べたことや自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて分かりやすく伝えようとする。(かかわる力)

6 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- 災害発生後の生活で困ること、大変なことを考え、自分たちもできることがあることを知って興味を持つ。

(2) 指導過程

過程	主な学習活動	主な指導・支援（視点）
導入 3分	<p>1 本時の活動を知る。</p> <p>震災後の生活で、困ったことは何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災後の生活で ～ でこまった。 <p>2 災害後の生活を想起し、ライフラインが途切れた生活を考える。</p> <p>①震災後の生活で困ったことを思い出す。 (予想される反応)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 震災当時のことにもふれるので、いやな気分になったら話さなくても良いことを伝える。 グループで話し合いながら、思いついたことを短冊に書かせるようにする。教師は状況に応じて適宜言葉を掛ける。

展	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレがない ・水が出ない ・明かりがない (暗い) ・食べ物がない ・洗濯ができない ・電気が使えない ・お風呂がない ・食べ物が毎日同じ ・服がない ・寝るとき寒い ・ガスが出ない (料理ができない) ・テレビが見られない ・ガソリンがない <p>②出た意見を黒板に貼り、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間分けをし生活に必要なものをまとめる。 ・「ライフライン」という言葉を知る。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり出てこない場合は、ポイントを絞った写真を掲示する。あまり刺激的なものは使わない。 ・電気、ガス、水道など生活に必ず必要なものを「ライフライン」と言うことを知らせる。(情報や交通面についてはここでは触れない。) ・ライフライン毎に、避難時の生活で困ることを考えさせる。避難所に限定せず、自宅にいる場合を想定しても良い。
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ライフラインが止まったときに、自分たちにもできることはないだろうか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・震災時、実際に目にしたことなどがあれば出させる。 <p>3 資料を読み、自分たちにもできる「くらしのヒント」を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副読本 P40~41 「災害時をくらすヒント」 <p>4 短い時間でできることを実際に体験する。</p> <p>5 他にもやってみたいことを考える。(予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックでご飯を炊いてみたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・出なければ深入りしない。 ・前単元学習中、児童がインターネットで見つけた資料についても話題にする。(本時では使用しない。) ・「牛乳パックの明かり」か「ほのぼの明かり」を実際にやってみる。 ・副読本に載っている工夫以外でも、これまでの経験から意見が出れば取り上げてよい。
まとめ 2分	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな水を作ってみたい <p>6 本時のまとめをし、次時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の体験活動について知る。

(3) 評価

具体の評価規準	避難時の生活で困ることを考えて発表し、くらしの工夫について興味を持つ。
十分満足できる状況	避難時の生活を想起して困ったことを進んで発表し、自分達にできる工夫について積極的に考え、活動に参加した。
Cへの手立て	避難時困ったことを連想するようなキーワードや写真を提示する。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>震災後の生活で、困ったことは何だろうか？</p> </div>			
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレがない ・水が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・明かりがない ・電気が使えない ・テレビが見られない ・洗濯ができない ・お風呂がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物がない ・食べ物が毎日同じ ・美味しい物がない ・料理ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝るとき寒い ・服がない ・ガソリンがない
水	電気	ガス	生活に必ず必要なもの：ライフライン
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分たちにもできることはないだろうか？</p> </div>			